

群青

仙台市立第一中学校
第3学年だより
第25号2022.2.28



季節は「雨水」から「啓蟄」へ

今、二十四節気では「雨水」。空から降りてくるものが雪から雨に変わり、春の訪れを告げるそんな時期を表しています。七十二候を含めた暦。そのタイムリーさといい、表現の豊かさといい、季節の移ろいに対する感性といい、先人の知恵にはしばしば感服させられます。

今では、カレンダーや暦は当たり前前に生活に密着していますが、現在のように整うまでには長い長い歴史があったようです。

沖方丁の小説「天地明察」。時代は江戸時代。主人公の渋川春海（安井算哲）は、囲碁棋士として勤めを果たしながら天文学や算学を中心に様々な学問に精通している好奇心旺盛な男性。その才能を見込まれた春海は北極星を観測しながら日本各地をめぐる北極出地という公務へと駆り出され、その旅で当時日本で使われていた「宣明暦」という暦にズレが生じているという事実を知ります。そして保科正之から新しい暦を作る「改暦」を命じられ、春海は頼もしい仲間に支えられながら、幕府の威信をかけた一大事業へと立ち向かいます。しかし新しく暦を作ることは政治的な思惑や大きな利権もからんでおり…果たして春海は事業を成し遂げることができるのか？という小説です。この渋川春海、中国から来た七十二候を日本の風土にあわせて大修正を施したことも後で知り「目からうろこ」でした。ふと、「歴史、それは昔の人々が懸命に生きてきた足跡」2年前の地域学習での厚綿さんのお話とも思い出しました。

長い雑感ばさておき・・・

先週は、新型ウィルスの影響で保護者会を中止にしました。直前の連絡で大変ご迷惑をおかけしました。私たちとしても、保護者の皆様に直接ご挨拶することのできる貴重な時間を失い、学年職員一同大変残念な思いもしております。配付予定だった資料は、今回合わせてお配りしますので、お目通しください。

一方、メールが届かず情報が滞ったというお声を頂戴しました。卒業まで約2週間になりましたが、感染状況は予断を許さない状況にあります。急な予定変更等が懸念されます。携帯電話やアドレスの変更等ございましたら変更内容を担任までお知らせください。また、着信拒否等の設定もご確認いただければと思います。

公立一次入試を除くと登校日は残り8日間になりました。これまで当たり前目にしてきた子どもたちの光景を見る時間も残りわずかになり、寂しくてたまらない気持ちに包まれています。この子どもたちの将来に対する期待はその何倍も大きいものがあります。いろいろな出来事があり先行きが不安定な世の中ですが、正しい知識、たくましく温かい人間性、健康な身体を備え、世のため人のために多方面で力を発揮してほしいと思います。

同窓会入会式

3月8日（火）1校時、本校体育館で同窓会入会式を行います。

昨年までは、新型コロナウイルスの影響で、役員さんにはご参列いただくことを求めませんでしたが、今回は副会長の並河浩一様にお越しいただき開催する運びになっております。

なお、本年度の幹事には1学期と2学期の学級委員12名が就きます。

そして、その中から、1組のY. K君、3組のY. A君が本年度の常任幹事に選ばれました。

入会式当日、K君には誓いのことばを述べてもらい、A君には記念品を受領してもらう予定です。卒業生208名が一中同窓会の仲間入りをします。諸先輩方よろしくお祈りします。



第73回卒業式について

子どもたちが、この一中を気持ちよく巣立てるよう、新生活に向けたよいステップになるよう練習に取り組んでいきたいと思ひます。

既にご案内を差し上げておりますが、3月12日(土)10時より本校第73回目の卒業式を行います。

新型ウィルスの感染者が増えている状況にあります、子どもたちの門出を祝うべく、プログラムについて校内で検討を重ね、準備を進めてきました。練習にも長い時間を割くことができず、公立一次入試終了後に卒業式の練習を始めます。

そこで、現段階での実施概要をお知らせしますのでご理解をお願いします。

〔式次第〕

- (修礼)
- 1 開式の言葉
 - 2 国歌斉唱 …… 斉唱せず、CD演奏を聞きます
 - 3 学事報告 …… 教頭が行います
 - 4 卒業証書授与 …… 担任呼名、校長が全員に授与します
 - 5 式辞 …… 校長が行います
 - 6 祝辞 …… 原稿を配付します
 - 祝電・祝詞披露
 - 7 記念品授与 …… 品物の紹介のみ行います
 - 8 送辞 …… 在校生代表が行います
 - 9 答辞 …… 長谷川柚紀さん(6組)が行います
 - 10 卒業の歌 …… 「カイト」「群青」
「カイト」 指揮：S. T (6組) 伴奏：Y. S (2組)
「群青」 指揮：K. Y (4組) 伴奏：Y. F (5組)
マスク着用の上、ステージに移動せず保護者の皆様の方を向いて演奏します
 - 11 校歌合唱 …… マスク着用の上、ステージに向かって演奏します
 - 12 閉式の言葉 (修礼)

卒業にあたり配付するもの

〔式前日〕

☐ 印鑑 (師親会より) ☐ 卒業アルバム ☐ 校誌「一眸」

〔式当日〕

☐ コサージュ (師親会より) ☐ 卒業証書 ☐ 証書ホルダー (同窓会より)

廊下がギャラリー化しています

毛筆「青雲」、美術「プレス機によるエッチング版画」



また子どもたちに楽しませてもらっています。

いつも思うことですが、「青」学年の子どもたちが創作する作品にはとても「味わい」深いものがあり、鑑賞しながら、制作しているときの子どもたちの真剣な表情を思い浮かべることがここ数日の間の楽しみになっています。作者の思いは、確実に作品に移るものですね。

残り僅かな日数になりましたが、現在2階の廊下に掲示・展示していますので、学校にお越しの際は、ぜひご覧になってください。

審查結果一覽

〔毛筆の部〕「青雲」

〔硬筆の部〕魯迅作「故郷」より

◇金賞	M. I (1)	H. N (1)
	M. O (2)	Y. S (2)
	K. S (4)	Y. H (6)
◇銀賞	K. A (1)	M. T (2)
	S. S (4)	K. K (5)
	I. I (6)	
◇銅賞	Y. S (1)	S. O (2)
	C. K (2)	Y. H (2)
	Y. K (3)	N. S (3)
	K. A (4)	S. K (4)
	M. T (4)	A. S (6)

◇金賞	M. I (1)	M. O (2)
	M. T (2)	S. S (4)
	M. T (4)	K. K (5)
◇銀賞	K. A (1)	H. N (1)
	Y. A (2)	S. O (2)
	C. K (2)	Y. S (2)
	H. K (3)	N. S (3)
	T. O (5)	I. I (6)
	K. S (6)	C. T (6)
	S. T (6)	Y. S (6)
◇銅賞	S. O (1)	M. O (1)
	Y. S (1)	Y. F (1)
	R. A (4)	N. O (4)
	A. S (6)	K. N (6)

3月の行事予定

二十四節気「啓蟄（けいちつ）」 3月5日～3月19日頃

啓蟄（けいちつ）とは、土中で巣ごもりをしていた生き物たちが目覚める頃のこと。

生き物たちは久しぶりに感じる爽やかな風と、麗らかな春の光の中で生き生き動き始めます。

七十二候

・蟄虫啓戸（すごもりむしとをひらく）3月5日～3月9日頃

土中で冬眠をしていた虫たちが、暖かい春の日差しの下に出てき始める頃。

虫とはいいますが、冬眠から目覚め始めるすべての生き物のことを表しています。

・桃始笑（ももはじめてさく）3月10日～3月14日頃

桃のつぼみが開き、花が咲き始める頃。昔は“咲く”という言葉で“笑う”と表現したそうです。

ゆっくりと開いていく桃の花は、ほほ笑んでいるようにも見えます。

・菜虫化蝶（なむしちょうとなる）3月15日～3月19日頃

厳しい冬を越したさなぎが羽化し、美しい蝶へと生まれ変わり羽ばたく頃。

菜虫とは、大根やブナなどの葉につく青虫のことをいいます。

[illegible]

